

2026年3月吉日

愛知医科大学  
学長 祖父江 元 殿

## 動物実験に関する検証結果の報告について

貴機関より依頼のありました、動物実験の実施状況に関する検証について、提出された資料と訪問調査により検証結果をまとめましたので、別添のとおり報告いたします。検証実施証明書も同封させていただきます。

なお、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」では、検証の結果を、インターネットの利用、年報の配布その他の適切な方法により公表することとなっておりますので、申し添えます。

公益社団法人日本実験動物学会  
外部検証委員会 委員長 森松 正美



動物実験に関する検証結果報告書

愛知医科大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2026年3月

愛知医科大学  
学長 祖父江 元 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 小倉淳郎



対象機関：愛知医科大学  
申請年月日：2025年6月12日  
訪問調査年月日：2025年12月10日  
調査員：西島和俊、岡本宗裕、喜多正和

#### 検証の総評

愛知医科大学は、1972年に単科大学として設立され、1980年に大学院医学研究科、2000年には看護学部看護学科、2004年に大学院看護学研究科が設置され、現在は2学部、2研究科体制となっている。総合医学研究機構動物実験部門が管理・運営する共用の中核動物実験施設として、バリアシステム施設、感染実験施設、大動物実験施設及びX線撮影施設が敷地内3か所に分散設置されているのに加え、医学部の4講座にひとつずつ小規模コンベンショナル飼養保管施設が設置されている。

文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に則した「愛知医科大学動物実験規程（以下「動物実験規程」という。）」と関連規程等が策定され、学長の責任の下、動物実験がおおむね適正に実施されている。また、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に則して、実験動物の飼養保管が適正に行われている。一方、動物実験規程の更新、飼養保管施設のマニュアル整備等、改善すべき点が認められる。今後も、引き続き適正な動物実験を実施するとともに、より充実し

た機関管理体制を構築されたい。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験規程が定められ、その内容は基本指針に則したものである。したがって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
動物実験規程、利用心得等は最終改正から15年以上が経過しているため、公私立大学実験動物施設協議会（以下「公私動協」という。）が公開する最新の機関内規程（雛形）を参考に、最新状況を踏まえた内容への更新を検討されたい。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験規程に動物実験委員会の責務、構成等が定められており、これに則した委員会が組織されている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。
4) 改善に向けた意見
動物実験委員会の構成要員である「その他学識経験を有する者」については、構成要件の趣旨が十分に反映されるよう、動物実験等の実施に直接関与しない者を選任されたい。

### 3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験規程において、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続が規定され、これらの手続に必要な各種様式が定められている。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「愛知医科大学医学部附属総合医学研究機構核医学実験部門放射線障害予防規程」「愛知医科大学組換え DNA 実験安全予防規程」「愛知医科大学組換え DNA 実験安全予防規程細則」「愛知医科大学病原体等安全管理規程」が制定され、有害化学物質を用いた実験の管理に関する委員会も設置されている。また、麻薬・向精神薬の使用は、行政への必要な手続を行っている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見 有害化学物質を用いた実験の実施に備えて、関連する規程等の制定を検討されたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>各飼養保管施設の設置に際しては、管理者が設置承認申請書を提出し、動物実験委員会の調査を経て、学長が承認している。各飼養保管施設には実験動物管理者が置かれ、利用マニュアル、災害等発生時の対応マニュアル等が整備されている。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

愛知医科大学は、2011 年度に外部検証を受けており、今回は 2 回目の受検である。前回の外部検証時に指摘された事項はおおむね改善されている。

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験計画の審査、飼養保管施設及び実験室の調査、教育訓練、自己点検・評価等、動物実験委員会の活動は適正に実施され、その議事録は適切に保存されている。したがって、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験計画書の審査において、各委員より出された意見に対する対応内容を確認できるよう、議事録の記録方法について検討されたい。</p>

### 2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>2024 年度には 125 件の動物実験計画が審査・承認され、年度ごとに提出が義務づけられている動物実験結果報告書（中止・終了 または 次年度継続）・自己点検票は、おおむね提出されている。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>中途転出者も含め確実に動物実験結果報告書（中止・終了 または 次年度継続）・自己点検票が提出されるよう、対応を強化されたい。</p>

### 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
遺伝子組換え実験、感染実験、放射性同位元素・放射線を取扱う実験等の安全管理に注意を要する動物実験については、関連する委員会の間で必要な情報共有がなされており、安全管理上の問題も生じていない。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
各飼養保管施設には管理者及び実験動物管理者が配置され、実験動物飼養保管状況の自己点検票も毎年提出されている。しかしながら、一部の施設においては管理者と実験動物管理者の役割分担が明確でなく、他施設の飼養マニュアルが流用されている。また、飼養保管施設設置後は、動物実験委員会による視察等はなされておらず、現状の把握ができていない。したがって、実験動物の飼養保管状況について、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。
3) 検証の結果
<input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見

飼養保管施設の設置承認後も、動物実験委員会が定期的に施設の管理状況やマニュアル等の整備状況を視察・確認されたい。

#### 5. 施設等の維持管理の状況

##### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 2) 自己点検・評価の妥当性

中核となる総合医学研究機構動物実験部門の施設は、経年劣化は認められるものの、適宜、補修・整備が行われ、適切に管理されている。したがって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

##### 3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 4) 改善に向けた意見

職員の負担軽減も期待できる施設の集約化を含め、中長期的な施設の改修・更新について引き続き検討されたい。

#### 6. 教育訓練の実施状況

##### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 2) 自己点検・評価の妥当性

実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者は毎年、教育訓練を受講することになっており、2024年度はこれらの139人に加え、学生115人及び大学院生が受講した。また、総合医学研究機構動物実験部門の実験動物管理者は、公私動協が開催する実験動物管理者の教育訓練を受講している。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

##### 3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 4) 改善に向けた意見

各講座の飼養保管施設の実験動物管理者についても、公益社団法人日本実験動物学会や公私動協が主催する、実験動物管理者の教育訓練等の受講を検討されたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

総合医学研究機構動物実験部門のウェブサイト上に、動物実験規程、動物実験委員会名簿、飼養動物数、動物実験の実施状況、動物実験に関する自己点検・評価報告書、動物実験に関する検証結果報告書（外部機関による検証結果）が掲載され、外部から閲覧が可能な状態となっている。したがって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

国立大学法人動物実験施設協議会及び公私動協が要請する情報公開項目である、施設の情報（飼養保管施設の総数）、前年度の教育訓練の実績（実施月日、実施内容の概略、参加者数）についても公開されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

要注意外来生物であるアフリカツメガエルを用いた実験も、審査・承認を行っている点は評価できる。